

平成20年度

町政座談会が
開催されました
(続編)

2月号では、11月17日から20日までの4日間行われた座談会の要旨を掲載します。(11月11日から行われた4日間の内容については1月号に掲載していますのでご覧ください)

Q & A

ニッ森地区
「コミュニケーションセンター」

Q ニッ森貝塚が世界遺産暫定リストに登録されたが、いつごろ世界遺産になるのか。

A 世界遺産暫定リストに登録され、国をあげてPRしているところ。暫定リストに登録されたからといってすぐに世界遺産になるとは限らない。現在、北海道及び北東北3県で協力してPR活動を行っている。

Q ニッ森貝塚の茅ぶき2戸の保存を保存会で行っている。国指定になって10年になるが茅が抜け落ちていく。冬期間はブルーシートをかけているが、そろそろ限界である。これからのように保存を進める予定か。

A 確かに古くなってきている。教育委員会としては平成21年度、2つのうち1つは予算計上して、茅ぶきの修繕を考えている。

Q 平成20年7月22日に請願書を町に出した件で、道路の整備と除雪についてどうなったか。除雪は今年の冬期間からやって欲しい。整備は、来年度あたり工事でできないものか。

A 道路の整備は、財政課と話し合っただけ。除雪については、東北町の管轄箇所もあるので協議して検討していきたい。

Q 中央公園北側の池周辺がみずぼらしいので何か作ってはどうか。また、花などを植えてみてはどうか。もっと有効に活用してほしい。

A 中央公園の北側にある修景池には、県の植樹祭で木を植えた。これから検討し、良い利用を考えたい。

Q 東八甲田ローズカントリーをもっとPRしてはどうか。他のバラ園に比べると華やかさに欠けるので、ポラントピアを集めてバラを植えたリ、切花ばかりでなく鉢植えを売るのも良いと思う。

A ローズカントリーも10年経ち、やっとバラの株が大きくなってきた。現在、10町歩に5千本が植えられている。今年度初めて「バラまつり」を開催した。5千人が来場してくれた。これからもっと盛り上げていきたい。

Q 一般国道45号上北道路の見通しはどうなっているのか。また、下北

半島縦貫道路についてはどうなっているのか。

A 六戸町から東北町虫神までの7.7キロ分は、すでに工事に着手している。残りの約19キロ分については引き続き早くできるように要望していく。今後、かなりのスピードで工事が進むものと思われる。下北半島縦貫道路は、むつ市側と野辺地側から工事が進められている。国道4号七戸バイパスは平成22年度に全線開通する予定。



Q 町で出生した子どもが、平成18年から平成20年までで100人いない。小学校も入学者が少ない。このままだと人口が減る一方だ。保育料の免除とか、中学生まで医療費を無料にするなど対策はないのか。

A 今までに少子化対策や子育て支援など取り組んできた。妊婦検診については、平成20年度から全14回分を町負担にするなど、いろいろ検討している。産後検診や予防接種についても考えており、平成21年度の対策として他市町村にない特色を出していきたい。定住者を増やすため、魅力ある町づくりをしていきたい。

Q 家を建てた場合に、道路の側溝にふたをつけたりしてもらえないのか。実現してもらいたい。

A 側溝を整備したり、ふたをつけるなどの対策について、今後検討していきたい。今まで町に申請をしてもらって工事する方法をとっていたが、今後さらに検討する。

Q 介護保険について、保険料が安くなるようにできないものか。経費のことについて教えてほしい。

A 今は第3期にあたり、3年ごとに見直しされている。平成21年4月からの3年間(第4期)は、65歳以上の介護料が10パーセント程度、安くなるのではないかと考えている。低所得者用に6段階に分かれている。

Q 77歳にもあげていた長寿祝い金は、まだあげているか。

A 昨年度までは100歳に30万円、88歳に3万円、77歳には1万円の祝いを支給していたが、現在、町には100歳が6人おり、77歳は高齢者としてみていいのかなどの声もあり、平成20年度から支給しないこととした。

Q 集落の環境維持について、自分たちでやらなければいけないと思っ

A クリーン作戦の時などに道路の環境整備などやっていこうとしているが手作業では厳しい。町にも協力をお願いしたい。農地・水・保全の会で町道区域内も整備している。雨水が溜まっている所に砂利を敷いたりしてほしい。

Q 役場に遠慮なく言ってください。生活環境を整えるのが町の仕事。

Q 甲田入り口に沢があり、その脇に道路の側溝のようなものがあるが、雨が降ったりしてくずれている。鉄筋のふたがついていて開けられない。補強したに限界だ。事故が起きる前に何とかしてもらいたい。建設課に以前お願いしたがやってもえなかった。

A 今年の春、沢のところに看板をつけた。側溝の掃除の依頼を受けたのに、対応できず大変申し訳ありません。泥の撤去などは早急に調査して対応したい。

Q 新幹線の駅名について「七戸十和田駅」とテレビや新聞で観たが決まったのか。

A 駅名については決まっていない。JRが1年前に営業上、ふさわしい名前をつける。町に決める権限はないが要望はできる。町議会では「七戸駅」、上十三地域広域市町村圏協議会(以下、上十三広域圏)では「七戸十和田駅」として知事に報告した。

【四ヶ村集会所】

Q 花松集落から榎林集落までの国道394号沿いの歩道について、お盆過ぎまでに草刈りをやってももらいたい。当地区は自転車通学の生徒が多いので、子どもの安全を守る意味でも早めに草刈りをしてほしい。

A 国道394号の管理は県で行っているため、上北地域県民局に早めにお願いをしたいと思う。

Q 中学校のスクールバスについて、夜は部活動がありバスが出ているが、朝はないなど問題がある。バスの時間についてこれからどうするのか。七戸地区と天間林地区とどう統一するのか。

A スクールバスは小・中学校の状況に応じて運行している。現在は冬場の利用準備中である。夏場は利用者が少ないので、現在は運行していないが夏場の利用も可能。

Q 水田の排水状況について取り組みをちゃんとしてほしい。

A 今年から七戸町、東北町と一緒にやっている。受益面積7対3の割合。工事の優先順位がある。延長する分も含めて、東北町との協議が必要。

A 伐採しているとは知らなかった。初めて聞いたので、買収した人を調べて調査したい。



Q 国道394号の花松交差点が、交通の難所となっている。現在行われている排水工事と同時に何とか通りたい。早く工事できないものか、ぜひ要望してもらいたい。

A 農林課の排水工事と協議して整備局に相談したい。

Q 一般国道45号上北道路について、旧上北町地区にインターチェンジができるかと聞いた。国道394号沿いにインターチェンジはできないのか。

A 上北道路の概略ルート説明会を合併前に行っており、インターチェンジの場所は、東北町虫神から小川原までの間に1箇所。堺ノ沢に1箇所。国道394号沿いの附田地区天童橋手前に1箇所。後平に1箇所インターチェンジができることになっている。

Q エンジができることになっている。上北道路は三沢からみちのく有料道路入口までの26キロの区間で、77キロは工事していると分かったが、残り区間の工事時期はどうなっているのか。

A 工事は未定。現在、環境アセスメントが終わっている段階。早く工事してもらえよう要望活動を行っていく。

Q 農産物加工グループの支援について聞きたい。また、農協とタイアップして加工施設をつくらんと聞いたがどうなのか。主体はどこか。

A 農産物研究会（キムチ等）が支援を受けている。施設については、農協から要望があった。県からは対象にならないと言われたが、来年度も申請していくことにしている。農協が主体。

Q 子どもが減少しているが、部活動のことなど、学校の今後の見通しについて教えてほしい。

A 確かに子どもは少なくなっている。榎林中学校は全校生徒で56人だと思った。野球、ソフトボール、卓球と部活動があり、ソフト部は、天間館中学校と合同で中体連に出場した経緯もある。今のところ、生徒数が少ないのなりの学校経営をしていきたい。

Q 排水路が東北町と七戸町の境にある。東北町では負担すると聞いているので、できるだけ早く進めてほしい。

A 上北地方県民局の農村計画課や担当課同士で話し合い、やること決めていく。ため池事業に40億かかり、平成24年まで工事がかかる。野崎地区が終わるまでに計画を立てたい。現在、振り分けているので財政課とも相談して具体的に協議していく。

Q 新幹線駅名について、七戸地区では「七戸駅」、天間林地区では「七戸十和田駅」と話しているが、同じ町で対立はみつもめない。駅名について、下北の人に聞いたら「関係ないこと」と言っていた。もっとインパクトのある名前が良いと思う。

A 町長になって19年間、新幹線について頑張ってきた。考え方がいろいろあると思った。日本一長い駅名にしてはどうかとの意見もあった。検討していきたい。

Q 2年後に七戸高校八甲田校舎がなくなると聞いている。町ではこれから学校の活用をどう考えているのか。昭和63年に開校したので校舎が比較的新しくもつたいない。

A 来年度から、生徒の募集は少ないと聞いた。校舎についてはぜひ利用したいと思っている。その後の利用はいろいろと検討中。

Q 公立七戸病院の欠損金が8億円あると聞いた。改修工事をするそうだが経営は大丈夫なのか。

A 病院では13億円の積み立てをしており、現残高は9億円ある。5億円かけて改修を行い、12月には完成する予定。改修工事しても3〜4

億円の積み立てが残ることになっている。

Q ふれあいセンターとスポーツセンターの利用について、現在、一般町民が簡単に利用できない状況。何のために建てたのか。もっと活用できるようにするべき。

A スポーツセンターは冬期間のスポーツ活動をより活発にするため、ふれあいセンターは合宿、研修のために整備された。今年、一般町民も広く利用できるように話し合いをし、平成20年11月から翌年3月までは試験的に、各団体が使用中は無料でネット裏をえるようにした。今後については、また集まって相談する予定。

Q 国道394号沿いの花松神社入口十字路にある旧富田商店の倉庫は町に寄付したと聞いたがどうなのか。調べてもらいたい。

A 町のものではないはずですが、この場では分からないので、今までのいきさつなどを調査したい。

Q 老人クラブで町のバス利用が困難になってきている。そのせいで行事が減ってきた。バスの台数を増やせないのか。

A 各団体には不便な思いをさせて大変申し訳ありません。現在、財政に余裕がなくバスが買えず難しい状況。今後も同じ状況が続くものと思われる。

Q 駅前のイオン出店はどうなっているのか。来るか来ないか教えて欲しい。また、個人商店に支援はないのか。

副町長A 新聞では、景気の低迷で、出店が1月より4割減ったとのこと。最近も、国道4号から駅前イオンに入る道路について話した。中身については具体的に進んでいる気配。駅開業までには来るはず。東北地区の責任者と話して確認したい。また、支援についても話し合っていきたい。

Q 中央図書館がだいぶ古くなっていると思うが七戸庁舎を利用できないのか。

A 今後の活用について、図書館を新しく建てるのは難しい。平成26年までには何とかしたい。建物の有効利用も考えている。

要望 今日の町政座談会の内容を課長会議などできちんと話し合ってください。

【柏葉館】

Q 駅名について、「七戸」は歴史のある名前。使われて100年になる。駅名にすることによって知名度があがると思う。町民の意向を無視しているのではないか。「七戸駅」となるように進めてほしい。

町長A 「七戸」で良ければそうしたいが、広域市町村の協力をまったく無視できない。駅開業後、町が孤立しないようにしなければならぬ。JRが決めるので町に決める権限はない。「十和田湖」の名前には大きな力がある。奥入瀬溪流は全国的に知名度がある。いかに人が集まるか誰のためか考えている。始めの計画ではミニ新幹線（スーパー特急）として決まっていたが、フル規格に変更し現在は在来線がある市町村（平内、野辺地、東北、三沢）も協力してくれている。対立構造をつくらないようにしたい。

Q 合併して4年になるが、七戸地区がさびれ、天間林地区が活発に見える。せめて行事だけでも一緒にして、大きいイベントなどは持ち回りにはどうか。

A 行事の数は七戸地区の方が圧倒的に多い（馬力大会、天王つじまつり、秋まつりなど）。天間林地区では夏まつりしかやっていない。

Q 町政座談会について、会場に南公民館がなくなったのはなぜか。七戸地区が3箇所、天間林地区は5箇所不合理だと思う。

A 遠い人が来やすいように今年から開催方法を変えた。2〜3年で町全体をまわるよう計画している。天間林地区は面積が広く広範囲のためより密着した意見を聴けるよう5箇所を設定した。ご理解いただきたい。

Q 防災無線で最近1度しか言わない。繰り返しをやめたのはなぜか。聞き逃してしまうので、できれば繰り返ししてほしい。

A 各課からのお知らせはさまざまで内容により1回にする時がある。何種類もある時は繰り返しが大変。検討していきたい。

Q 新駅名について、七戸庁舎に「町民の願い」と看板があるがどういう経緯で掲げたのか。町民の願いを聴いてないのではないか。

A 七戸庁舎4階屋上の看板は、駅名のためではなく、駅が1日でも早く町にできてほしいという願いから設置したもの。

Q 町では農協についてどう思っているのか。七戸地区は八甲田農協、天間林地区はとうほく天間農協で、とてもやりにくい。

A 1行政と1企業がベストであるが、農協と行政はちがう。やりにくく不便かもしれないが、それぞれの組織のやり方がある。残念だが今はどうにもできない。いずれ農協は十三地域で1つになると思っている。

Q 町の広報誌について、分かりにくい。10月号と5月号に町の予算が載っていたが、パーセンテージと金額が混同している。円グラフが右回りでない。額の単位も入れると分かりやすいので直すべきだ。

A 記事の掲載の仕方について、不勉強でご迷惑をおかけしました。内容の充実に努力していきたいと思う。県内外の広報誌を参考に分かりやすい



い広報を目指していく。

Q 上下水道について、水道を使用していないのにメーター使用料を徴収されるのはなぜか。他市町村ではメーター使用料を徴収していない市町村もある。納得できない。

A 町の水道料金の体系は、実際に使用した水量の料金とメーター料の合算額を水道料金として利用者に負担してもらっている。メーター料については、メーターの検満（8年）に伴う交換費用として負担してもらっている。交換時に使用者負担は発生しない。

また、水道料金の決定については、事業所（市町村）単位で料金設定しており、県内40事業所では、七戸町と同様の方法（水道料金プラスメーター料）で設定している所は22事業体、水道料金にメーター料を加味し

た料金を設定している所は18事業体。ご理解をお願いしたい。

Q 新聞に鷹山宇一記念美術館の館長が、県立美術館の館長になるとあったがどうなのか。記念美術館の館長は変わるのか。

A 新聞のとおり。平成21年1月1日付けで県立美術館長になる。館長になる話は急なことで、だいぶお断りしたようだが断り切れなかったそう。兼務も難しいため、3年の任期で館長をする。町の美術館は、役員戸昭吉さんを館長代理にして不在の間を理事会で考えていく。

Q 今年から「しちのへ夏まつり」の日にちが変わったが、今後花火はやるのか。旧町でやっていた「ペゴッコまつり」がなくなったのはなぜか。また、家族旅行村のケビンは冬期間になぜ使えないのか。

A 合併後すぐは8月16日に「みよこまつり」を行った。その後、合併3年目に「しちのへ夏まつり」を8月5日にやったが、集客が見込めず、まつり実行委員会で話し合った結果、4年目は8月16日に開催することになった。今後も集まりやすい時期を話し合って決めたい。

花火大会については、以前650万円の経費がかかっていた。町の予算が厳しく協賛金も見込めないことから見送っている。財政状況をみて検討していきたい。ペゴッコまつりについては夏まつり時に縮小してやっていた。来年度から「バラまつり」の

中で「バーベキューまつり」をやってみてみたいと検討中。ケビンの冬期間利用については、進入路が一部、スキー場のコースになっているほか、建物自体も冬仕様ではない。うまく活用できる方法を考えたい。

Q 駅が開業してからのような観光の対策を考えているのか。田舎なら田舎らしい駅が良いと思う。他市町村の真似をしていくのか。

A ガイドの会などと、七戸独自のものにしていくため話し合いをしている。七戸ならではの観光コースを考えているところ。現在、JRから「駅からハイキング」という商品が出ている。町にも話があり、5月はつじのコース、6月はバラのコースを検討中。

Q 現在、策田地区にある「ジャスコ七戸店」は、駅前にイオンができるとうなるのか。

A 駅前にイオンが出店するのは確定ではない。具体的にはまだ決まっていないが駅開業前に開店すると思う。役場庁舎など、町の公共施設が全面禁煙となったが、少し一方的すぎないか。1億円強のタバコ税が町に入ってきているはず。禁煙を勧める人の意見ばかりが反映されていないか。外でタバコを吸っているのはみっともない。

A 現在も1億を超える税金がある。健康増進法ができて町でも計画ができたが、タバコの害項目が大きい。公共施設内の禁煙だけで外には灰皿

を置いてある。喫煙場所については我慢してほしい。分煙機を設置するにも経費がかかる。吸う人のことも考えていきたいが難しい状況。

Q ニッ森貝塚はきれいに整備されているが七戸城址は草が生い茂っている。南部氏の墓をもう少し整備してはどうか。

A 整備についてはお寺の管轄になるので勝手に手をつけられない。話しておきたいと思う。歴史的なものは大事にしていきたい。

Q 町で旧田清、盛喜跡地の再利用や、「蔵の町」構想で町おこしをしようとしてくれたが、いつの間にか取り組みが消えた。商店街には目を向けてくれないのか。

A 旧田清を町で買い取りしようとしたが反対された。盛喜は酒の博物館にしたかった。「蔵の町」構想については、蔵を持っている人が賛同してくれなかった。現状ではとてもできない。行政では活性化のためにやろうとしたが、「やりたい」と熱意のある人が出てこなかった。また、町に商工会が2つある状態で、商工会合併の話も進まない。新幹線が開業するのに一体的な取り組みができないのが現状。

【倉岡生活改善センター】

Q 改善センターの莫座がだいぶ古



くなり破けている。新しくしてほしい。また、床がへこみ、危険なので直してもらえないか。

A 財政課と協議して検討してみたいと思う。

Q 2年後の地上デジタル放送について、集落に共同アンテナなどを立てられないものか。

A 地上デジタルの電波についてはこれからの課題になってくると思う。2011年に向けて映らないところもたくさん出てくるだろうと言われる。国で何らかの対策があると思うのもう少し待ってもらいたい。

Q 長期総合計画にシルバーハウジング(世話付き住宅)とあるので期待している。高齢者が一人で住むのはあぶない。モデル的にシルバーハウジングをつくってはどうか。

A 実際のところ、老夫婦世帯や、ひとり暮らしの高齢者世帯が増えていく。民生委員の安心電話を付けている世帯もあるが、いつ事故があるか分からないのが現状。高齢者対策についてはこれから色々必要だと思ふ。シルバー向け住宅は必要なので考えていきたいと思う。

Q 農業に魅力を感じるよう政策に力を入れるとか、定住する人を呼び込むことを本気で考えてほしい。農業をやりたい人の受入相談窓口の設置などが整えば、たくさん町に来ると思う。

A 住宅付き農地なども考えている。高齢化対策にも人口増加も見込めると思う。色々組み合わせを考えていきたい。町にも限界集落が20あると言われている。今の財政状況でどうしたら良いか模索中。

Q 駅名について、「十和田湖」という有名な名前を断れば、新青森駅で付けるのではないか。今までの経緯もあるので「七戸」にこだわらなくても良いと思う。誰でも分かる「七戸十和田駅」が妥当だと思う。

町長A 上十三広域圏でまとまらなければ1案、2案と増える。決めるのはJRで私や県知事に権限はない。十分に参考にしたい。

Q 七戸町は交通の便が非常に良く、人が集まりやすいと思う。固定人口ではなく流動人口をターゲットにした商売をしても良いと思う。

A 最近の傾向をみると「観る観光」から「体験する観光」に変わってきている。広域的に協力しなければいけないと思う。

Q 日本の食糧自給率が下がってきている。単純に補助金を出す政策はやめたほうが良いと思う。

A 農業だけでは暮らしていけない。兼業しているからやっていける。安い外国産の作物が輸入されるため、国産が安全でも売れない。どのように盛り上げていくかが大事と考える。

Q 除雪について、倉岡と治部袋では業者によって担当地区が違うのか。除雪時間が違うのはなぜか。

A 町直営と業者とで除雪を行っている。委託された業者は担当区しかやらない。なるべく差のないように見直していきたいと思う。

Q コミュニティバスが「まちの日」(毎月8が付く日)とずれている。まちの日に合わせるようにしてもらいたい。

A 合併してからコースを変更したり、見直しをかけたりにしている。バスの運転手とも協議し、検討したい。

Q 旧倉岡小学校にある廃材はいつ片付けてくれるのか。子どもたちも遊びに行くので危険だ。早めに撤去をお願いしたい。

A 体育館と教室を壊した時の廃材だったと思う。早く片付けたいと思っているが、まだ目途が立っていない。できるだけ早く片付けたい。